

## 「常陽」使用済燃料の再処理実績について

「常陽」の使用済燃料は、核燃料サイクル工学研究所の高レベル放射性物質研究施設（CPF: Chemical Processing Facility、核燃料物質使用施設）で、数ピン/回で、繰り返し一連の再処理を実施した実績がある。CPF で実験的に実施した再処理のみであり、これ以外に国内及び海外で再処理を実施した実績はない。

CPF で 2 体の使用済燃料から取り出した燃料要素 4 本を再処理し、プルトニウム燃料第一開発室にて燃料要素 1 本の一部として加工、この燃料要素 1 本を挿入・組立した特殊燃料集合体 1 体を「常陽」に装荷している<sup>[1]</sup>。

上記の燃料要素 1 本のみ燃料体に加工しており、燃料体に加工せず、保管しているウラン及びプルトニウムがある。

[1] 中江 延男、高速増殖炉サイクルシステム技術について考える、JNC TN8410 2003-020、2004。URI: <https://jopss.jaea.go.jp/search/servlet/search?4027743>。

以 上